

知っておきたい！ トリアージについて

トリアージとは災害・事故現場などで一時に大勢の負傷者が発生した時に、重症度によって治療の順番を決めることを言います。ただ、この方法は普段の現場においても重症度を見て場合によっては先に診察をしたりと行われている事です。また今回の新型コロナウイルスが爆発的に増え一気に医療現場に患者様が殺到した場合、トリアージが行われる可能性があります。そこで今回は医療従事者として覚えておきたい災害時のトリアージについてお伝えします。

トリアージは前述したように、患者様の選別を行う事を指します。特に災害時などは医療資源などが不足しています。そのため適切に判断し、適切な治療を行うという事がとても重要になってきます。

トリアージは状況によって適切な方法があります。大きく分けて1次トリアージ(ふるい分け):start法2次トリアージ(集積と制度向上):PAT法の2つに分かれます。今回はまず傷病者を一番に判断をする1次トリアージ:start法(以後こちらをトリアージと呼びます)についてご紹介します。

トリアージ方法



トリアージでは状態別に4色の区分に分けられます。この判断を下すのは病院などの場所の場合は医師が中心となり、看護師が治療のサポート、そのほかの医療従事者は患者様の誘導などを担う場合が多いです。

左図のフローチャートを参照にトリアージを行います。その時のケースによって判断が変わる場合もあります。そのため詳細な状態観察や1回だけでトリアージを行うのではなく、継続したトリアージを行う事が大切です。

0	治療の適応なし(死亡等)	黒
I	緊急治療の適応有り	赤
II	治療の必要はあるが待機可能	黄
III	入院治療の必要性はない軽症者	緑

トリアージフローチャート 飯水医師会災害医療救護体制より作成

トリアージタグ

そしてトリアージを行うたびに「トリアージタグ」に患者様の状態を記載していきます。トリアージタグは原則患者様の右手首につけ、誰なのか、どの区分の傷病者なのか、どの様な治療をしたのか等一目でわかるようにします。水などに濡れても大丈夫なように強い素材になっています。

← ゴムがついており簡単につけれます

← 個人を特定する情報

← 診断内容、処置内容

← 判断ごとにもぎ取ります



みどり病院でも毎年9月にはトリアージ訓練を行っています。地域の人々の協力で患者様になって頂きメイクなどで傷も本格的に描いたりと臨場感を持って行っています。訓練を活かし本番でもいかに素早く医療従事者同士が協力して動くことによって、助かる命があると思うととても大切です。



医師はオレンジ、看護師はピンク、そのほかの職員（リハビリや事務等）はみどりのゼッケンを着て誰からも分かりやすくしています

電気が使えない状況を想定し、暗闇で行っています



今回新型コロナウイルスでもわかる通り、看護師をはじめとした医療従事者は自分の家族が心配な中でも患者様の為危機的な状況で働いたりすることが多く、リスクを背負っています。しかしその半面、患者様の命を救うとても重要なお仕事です。実際にトリアージを使う場面がない事を祈るばかりですが、「備えあれば憂いなし」。いざ来るときのためにしっかりと頭に入れて置くことが大切です。



ナースの休日



2月上旬に中津川市にある「馬籠宿」に行ってきました！
そこにあるcafeがオシャレでコーヒーも美味しくオススメです♪古い町並みが好きなので、いつか日本全国にある街並みを制覇したいなーと思っています。
今はまだコロナの影響で遊びに行くことが出来ず、とても悲しいですが早く収束する事を祈りまた充実した休日を過ごしたいと思います...！



奨学生募集

貸与金額 月額50000円

◆奨学金を受けた期間と同期間働くことによって返済免除になります。

対象

◆看護学校入学が決定した方 ◆看護学校在学の方 ◆免許取得後、当法人で働くことを希望される方

就職説明会等

就職説明会や実習、インターンシップなど随時受け付けております。

日程や時間、場所等もご希望に合わせて対応しております。詳しくは下記メールや電話にてお問い合わせください♪

お問い合わせ みどり病院



TEL:058-241-0681(代表)
090-1621-0243(専用)
担当: 亀田 果玖

Mail: midori-nurse@gifu-min.gr.jp